

「第2回エシカル消費の認知度等に関するアンケート調査」

調査時期:2026年1月22日~2月28日

対象者:白山市在住の18歳以上の方

調査方法:白山市が運用するLINE公式アカウントで配信(インターネット調査)

回答数:434人

調査担当:北陸大学経済経営学部経済学科 志田義寧 y-shida@hokuriku-u.ac.jp

事業担当:白山市消費生活センター 076-274-9507

(調査結果の概要)

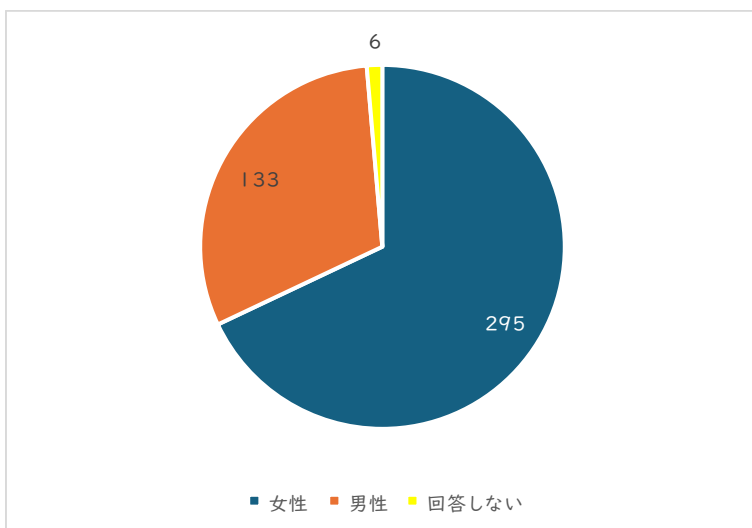
調査から、社会や地域・環境に配慮した行動はしているものの(Q1)、言葉としての「エシカル消費」は十分浸透していないことが分かった(Q5)。この結果、新しい行動を促す施策をつくるよりも、すでに行われている行動に「エシカル消費」という意味づけを与える広報が有効であると考えられる。最大のボトルネックは何がエシカル消費か見分けがつかないことであり(Q8)、施策として、補助金や値引きより先に、見える化・表示・売り場での情報提供が効果的である可能性を示している(Q15)。

※グラフ化するにあたり、性別の「回答しない」、年代の「10代」、「20代」はサンプル数が少なかつたため、グラフには表示していない。加えて、本調査の回答者構成は白山市の住民基本台帳に基づく年齢構成と比較して若年層の割合が低く、50代以上の割合が高いことから、本結果は市民全体の傾向をそのまま示すものではない点に留意が必要である。

回答者の属性

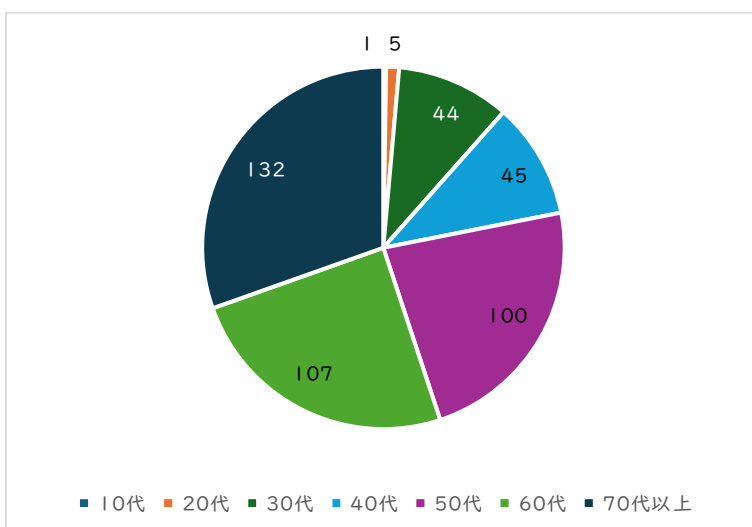
(Q17) あなたの性別を教えてください。

女性	男性	回答しない
295	133	6



(Q16) あなたの年齢を教えてください。

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
1	5	44	45	100	107	132

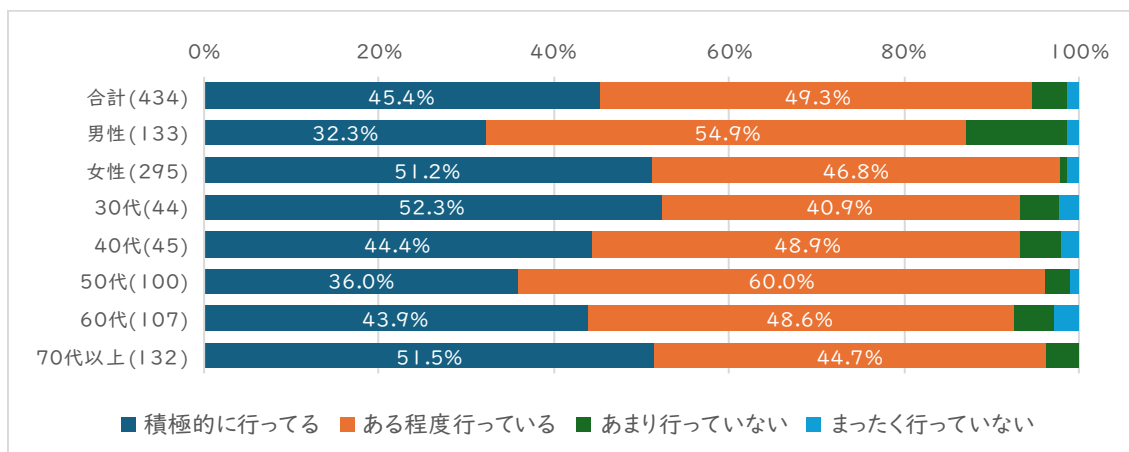


(Q1) 社会や地域・環境に配慮した行動(エコバッグ、食品ロス削減、詰替商品購入など)をどの程度行っていますか？

社会や地域、環境に配慮した行動については、「積極的にしている」または「ある程度行っている」と回答した人が大半を占めており、こうした行動が一定程度広がっていることがうかがえる。男女別では、女性の方が「積極的にしている」の割合が高く、男性では「あまり行っていない」がやや多くみられた。年代別では、30代および70代以上で積極的に取り組む傾向が比較的強かった。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
積極的にしている	45.4	32.3	51.2	52.3	44.4	36.0	43.9	51.5
ある程度行っている	49.3	54.9	46.8	40.9	48.9	60.0	48.6	44.7
あまり行っていない	3.9	11.3	0.7	4.5	4.4	3.0	4.7	3.8
まったく行っていない	1.4	1.5	1.4	2.3	2.2	1.0	2.8	0.0

(%)



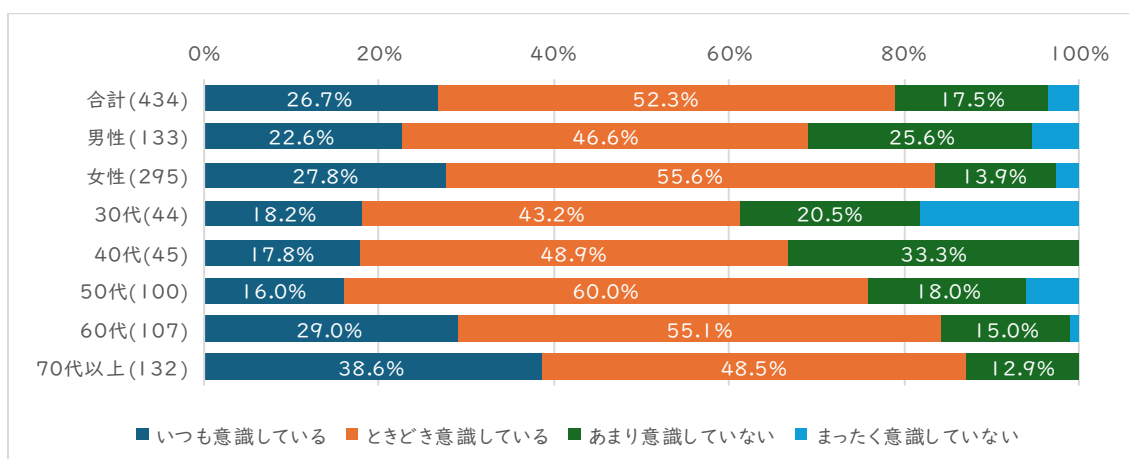
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q2) 普段の買い物で白山市産・石川県産を意識して選んでいますか？

白山市産・石川県産の食品や製品については、「いつも意識している」「ときどき意識している」と回答した人が多く、地元産品を選ぶ意識は全体として高い水準にあると考えられる。男女別では、女性の方が地元産品を意識して選ぶ傾向がみられた。年代別では、年齢が高い層ほど「いつも意識している」の割合が高く、地産地消への意識が強い傾向が確認された。

(n=)	合計 (434)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
いつも意識している	26.7	22.6	27.8	18.2	17.8	16.0	29.0	38.6
ときどき意識している	52.3	46.6	55.6	43.2	48.9	60.0	55.1	48.5
あまり意識していない	17.5	25.6	13.9	20.5	33.3	18.0	15.0	12.9
まったく意識していない	3.5	5.3	2.7	18.2	0.0	6.0	0.9	0.0

(%)



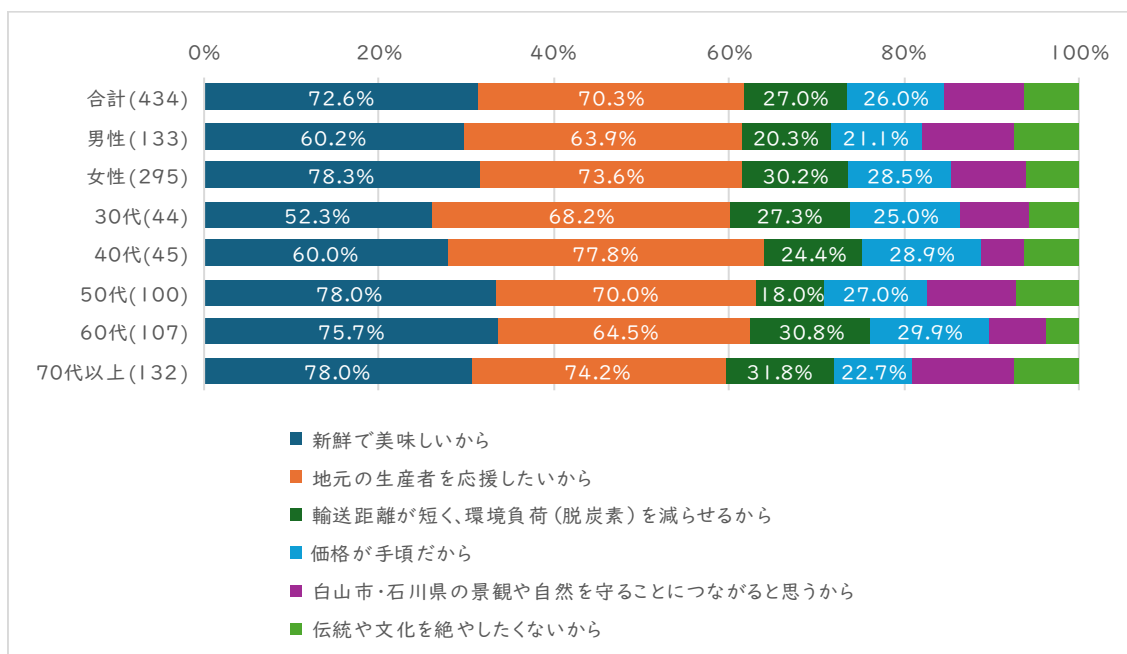
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q3) 地元の食材や製品を選ぶ理由として、当てはまるものを全て選んでください。

地元の食材や製品を選ぶ理由としては、「新鮮で美味しいから」「地元の生産者を応援したいから」が多く挙げられており、品質面への評価と地域貢献意識の双方が背景にあることがうかがえる。男女別では、女性の方がこれらの理由を挙げる割合が高く、環境負荷の軽減を理由とする回答も比較的多かった。年代別では、30～40代では生産者支援の意識が比較的強く、50代以上では新鮮さやおいしさを重視する傾向がみられた。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
新鮮で美味しいから	72.6	60.2	78.3	52.3	60.0	78.0	75.7	78.0
地元の生産者を応援したいから	70.3	63.9	73.6	68.2	77.8	70.0	64.5	74.2
輸送距離が短く、環境負荷(脱炭素)を減らせるから	27.0	20.3	30.2	27.3	24.4	18.0	30.8	31.8
価格が手頃だから	26.0	21.1	28.5	25.0	28.9	27.0	29.9	22.7
白山市・石川県の景観や自然を守ることにつながると思うから	21.2	21.1	21.7	15.9	11.1	24.0	15.0	29.5
伝統や文化を絶やしたくないから	14.5	15.0	14.6	11.4	13.3	17.0	8.4	18.9

(%)



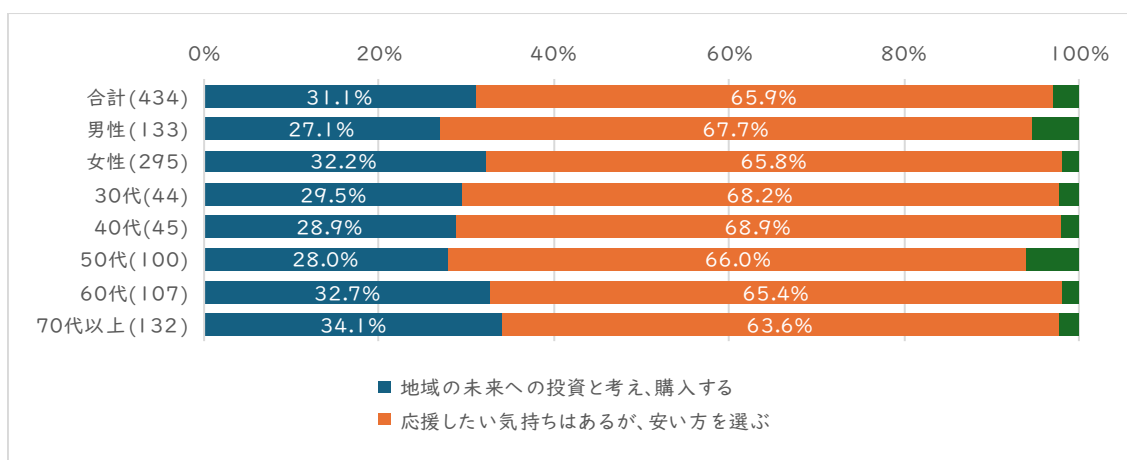
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q4) 白山市産・石川県産の食材や製品が、他地域産より1~2割高い場合、あなたの購買意欲はどう変化しますか？

地元産品が一般的な商品より1~2割程度高い場合については、「応援したい気持ちはあるが、安い方を選ぶ」とする回答が多く、価格が購買判断に与える影響の大きさがうかがえる。一方で、「地域の未来への投資と考え購入する」とする回答も一定数みられ、価格差があっても購入を前向きに捉える層も存在している。

(n=)	合計 (434)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
地域の未来への投資と 考え、購入する	31.1	27.1	32.2	29.5	28.9	28.0	32.7	34.1
応援したい気持ちはあ るが、安い方を選ぶ	65.9	67.7	65.8	68.2	68.9	66.0	65.4	63.6
高ければ絶対に買わな い	3.0	5.3	2.0	2.3	2.2	6.0	1.9	2.3

(%)



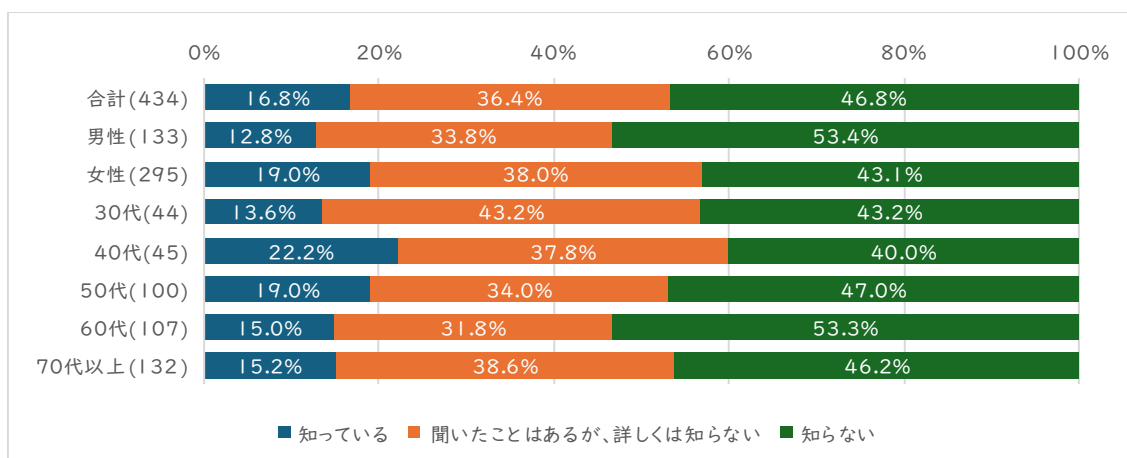
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q5) Q1の社会や地域・環境に配慮した行動(エコバッグ、食品ロス削減、詰替商品購入など)のことを「エシカル消費(倫理的消費)」と言います。エシカル消費という言葉を知っていますか?

「エシカル消費」という言葉については、「知っている」と回答した人は限定的であり、「聞いたことはあるが詳しくは知らない」または「知らない」とする回答が多数を占めた。このことから、実際の行動はある程度行われていても、用語としての認知は十分に浸透していないことが分かる。男女別では女性の方が認知度がやや高く、年代別では40代で比較的認知度が高かったものの、全体としてはどの年代においても認知拡大の余地が大きい。

	合計 (n=)	男性	女性	30代	40代	50代	60代	70以上
	(434)	(133)	(295)	(44)	(45)	(100)	(107)	(132)
知っている	16.8	12.8	19.0	13.6	22.2	19.0	15.0	15.2
聞いたことはあるが、詳しくは知らない	36.4	33.8	38.0	43.2	37.8	34.0	31.8	38.6
知らない	46.8	53.4	43.1	43.2	40.0	47.0	53.3	46.2

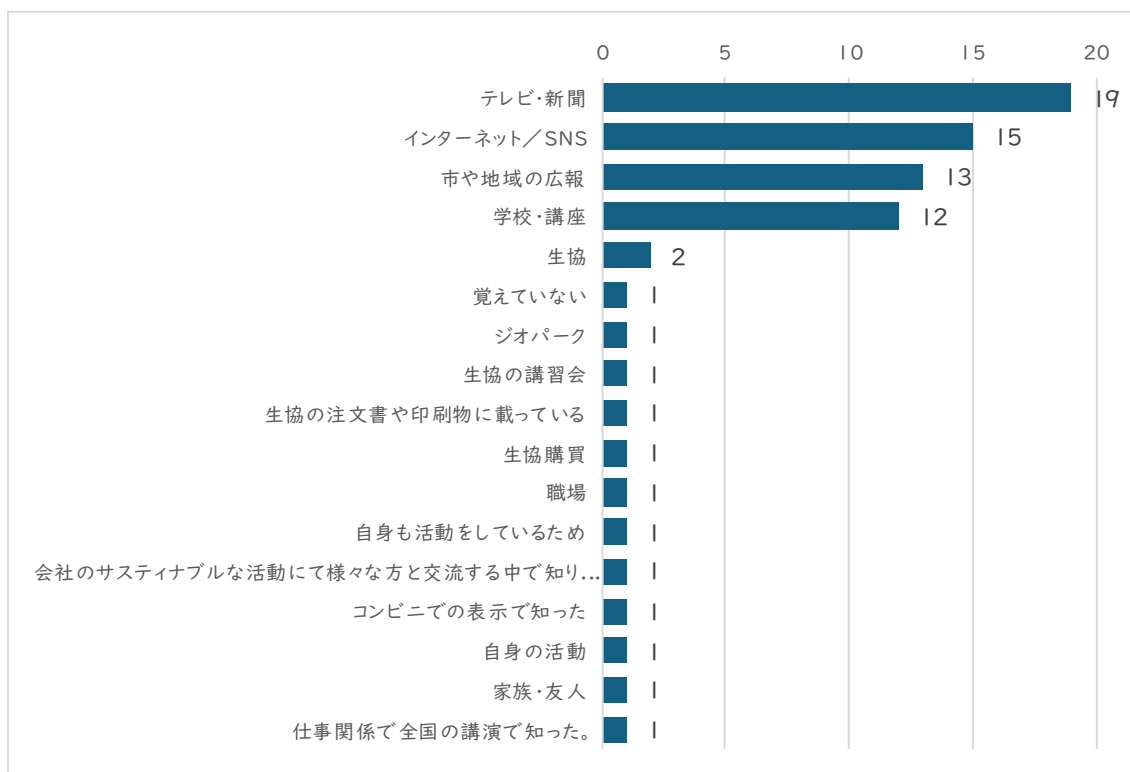
(%)



※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q6) エシカル消費を知ったきっかけは何ですか？

エシカル消費を知ったきっかけとしては、テレビ・新聞、インターネット/SNS、市や地域の広報、学校や講座が上位を占めた。一方で無回答もみられることから、言葉としての認知自体がまだ十分に広がっていない層も少なくないと考えられる。

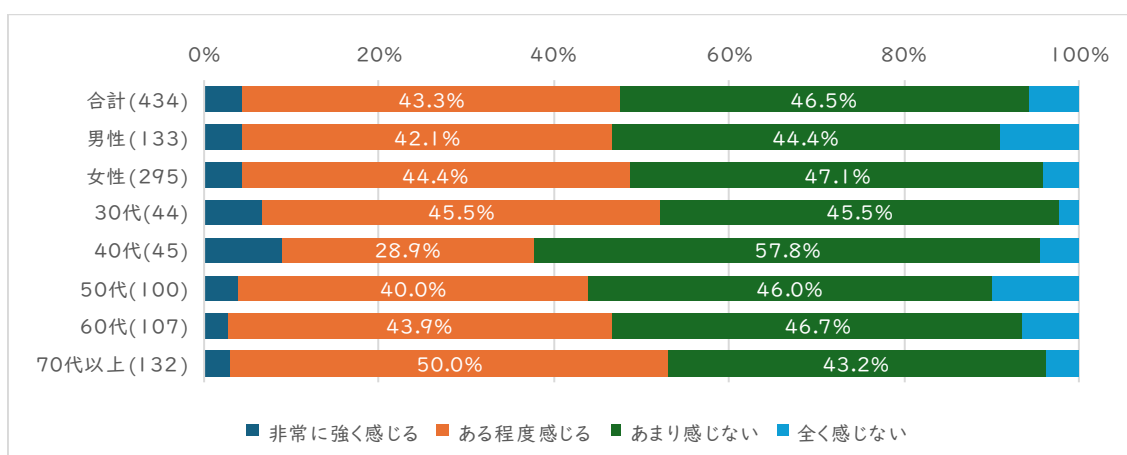


(Q7) 自分の買い物が社会や地域、環境の課題解決につながるという実感はありますか？

自分の買い物が社会や地域、環境の課題解決につながっているという実感については、「ある程度感じる」とする回答が一定数みられた一方、「あまり感じない」とする回答も多かった。こうした結果から、消費行動と社会的効果とのつながりについて、十分に実感できていない人が少なくないことが分かる。今後は、個々の行動がどのような成果につながるのかを、分かりやすく伝える工夫が求められる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
非常に強く感じる	4.4	4.5	4.4	6.8	8.9	4.0	2.8	3.0
ある程度感じる	43.3	42.1	44.4	45.5	28.9	40.0	43.9	50.0
あまり感じない	46.5	44.4	47.1	45.5	57.8	46.0	46.7	43.2
全く感じない	5.8	9.0	4.1	2.3	4.4	10.0	6.5	3.8

(%)



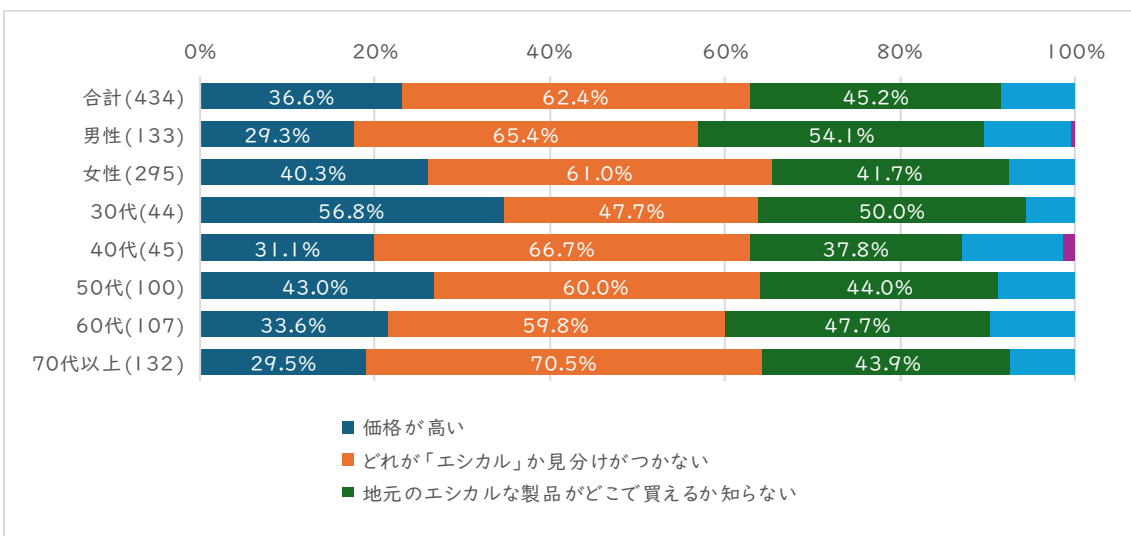
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q8) 日常生活の中で、エシカル消費を実践する上での課題は何だと思いますか？当てはまるものを最大2つまで選んでください。

実践上の課題としては、「どれがエシカルか見分けがつかない」が最も多く、次いで「どこで買えるか分からない」「価格が高い」が続いた。したがって、課題は価格面に限らず、情報不足や商品・売り場の分かりにくさにも大きく起因していると考えられる。男女別では、男性において「どこで買えるか分からない」とする回答が比較的多く、女性では「価格が高い」がやや多かった。年代別では、30代で価格負担が大きな課題として表れた一方、高齢層では見分けにくさがより大きな課題となっていた。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
価格が高い	36.6	29.3	40.3	56.8	31.1	43.0	33.6	29.5
どれが「エシカル」か見分けがつかない	62.4	65.4	61.0	47.7	66.7	60.0	59.8	70.5
地元のエシカルな製品がどこで買えるか知らない	45.2	54.1	41.7	50.0	37.8	44.0	47.7	43.9
手間がかかる(分別の複雑さなど)	13.1	16.5	11.9	9.1	17.8	14.0	15.0	11.4
スーパーであまり取り扱われていないこと	0.2	0.8	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0

(%)



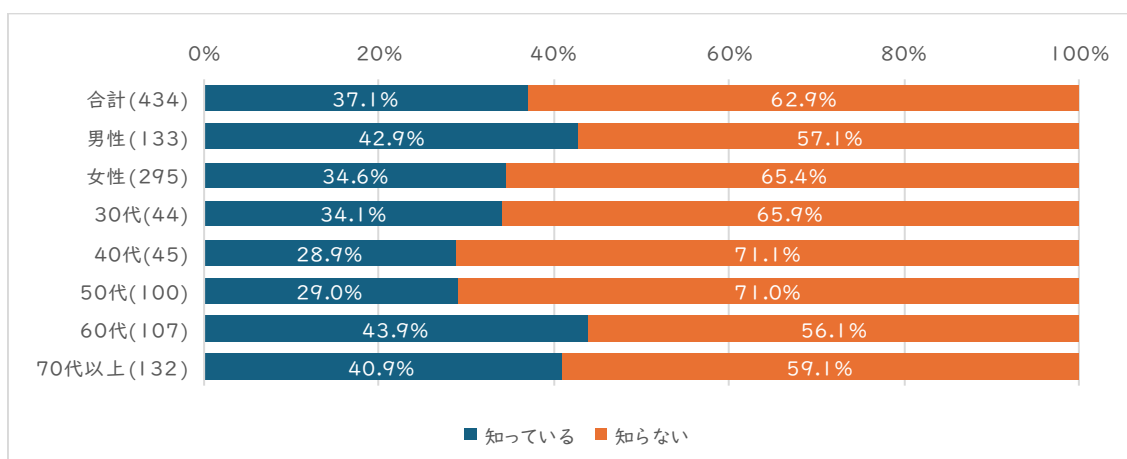
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q9) 白山市が「SDGs 未来都市」に選定されていることを知っていますか？

白山市が SDGs 未来都市であることについては、「知らない」とする回答が多く、市の取り組みが市民全体に十分浸透しているとは言い難い結果となった。男女別では男性の方がやや認知度が高く、年代別では 60 代以上で比較的認知が進んでいた。一方、30~50 代では認知が十分でない状況がみられ、今後は幅広い世代に向けた情報発信の強化が必要と考えられる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
知っている	37.1	42.9	34.6	34.1	28.9	29.0	43.9	40.9
知らない	62.9	57.1	65.4	65.9	71.1	71.0	56.1	59.1

(%)

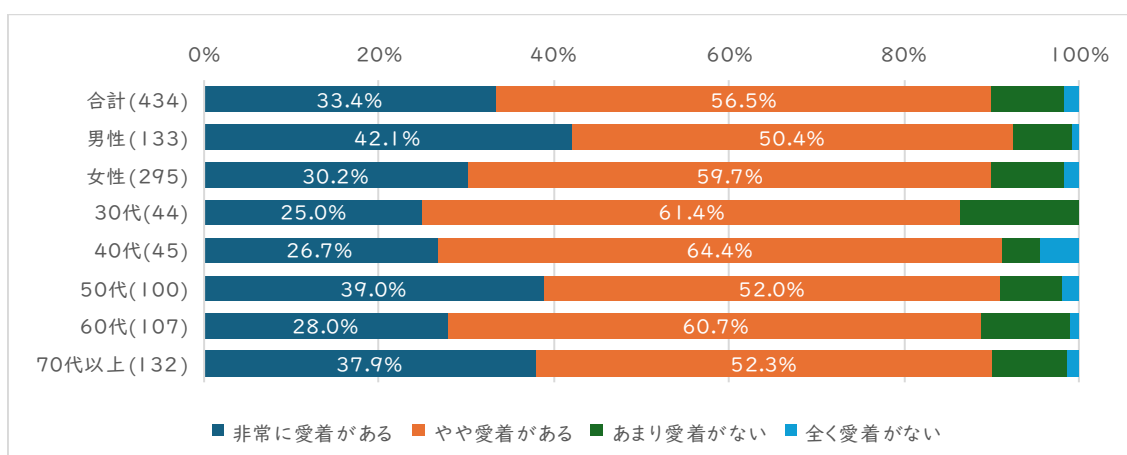


(Q10) あなたは白山市に対してどの程度愛着を感じていますか？

この質問は、地元への愛着がどの程度エシカル消費に影響を及ぼしているかを把握するために設けた。白山市への愛着については、「非常に愛着がある」「やや愛着がある」と回答した人が大半を占めており、市に対する愛着は全体として高いことが確認された。男女別では、男性は「非常に愛着がある」とする回答が多く、女性は「やや愛着がある」が多かった。年代別では、50代および70代以上で比較的強い愛着がみられ、地域との心理的な結びつきが強いことがうかがえる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
非常に愛着がある	33.4	42.1	30.2	25.0	26.7	39.0	28.0	37.9
やや愛着がある	56.5	50.4	59.7	61.4	64.4	52.0	60.7	52.3
あまり愛着がない	8.5	6.8	8.5	13.6	4.4	7.0	10.3	8.3
全く愛着がない	1.6	0.8	1.7	0.0	4.4	2.0	0.9	1.5

(%)



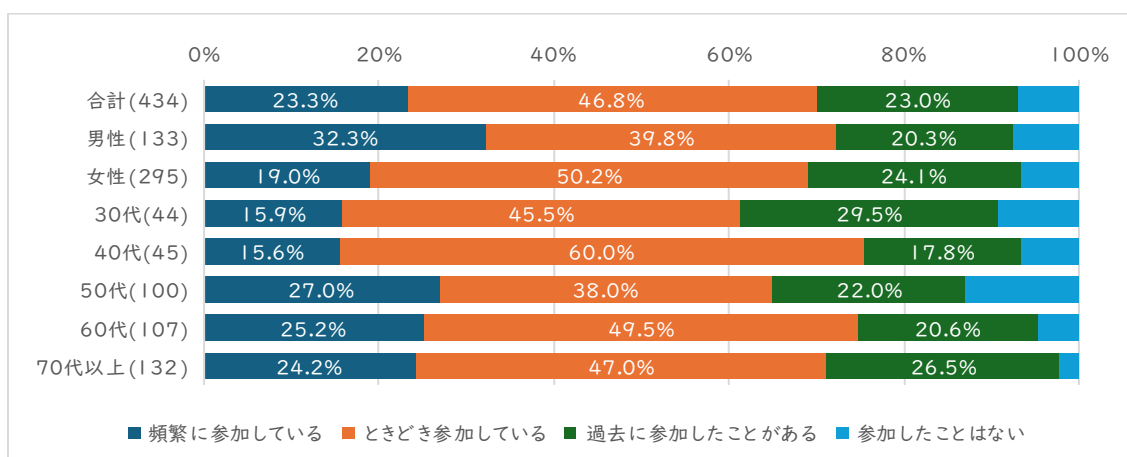
※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q11) これまで、市内の清掃活動や祭り、地域行事などに参加したことがありますか？

この質問は、地元行事への参加度と地元への愛着との関係を把握するために設けた。地域行事への参加経験については、「頻繁に参加している」「ときどき参加している」「過去に参加したことがある」を合わせると多くの回答者が何らかの形で地域行事に関わっていた。男女別では、男性は「頻繁に参加している」が比較的多く、女性は「ときどき参加している」が多かった。年代別では、高年齢層ほど参加経験が厚く、地域との接点が比較的に強いことが分かる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
頻繁に参加している	23.3	32.3	19.0	15.9	15.6	27.0	25.2	24.2
ときどき参加している	46.8	39.8	50.2	45.5	60.0	38.0	49.5	47.0
過去に参加したことがある	23.0	20.3	24.1	29.5	17.8	22.0	20.6	26.5
参加したことはない	6.9	7.5	6.8	9.1	6.7	13.0	4.7	2.3

(%)

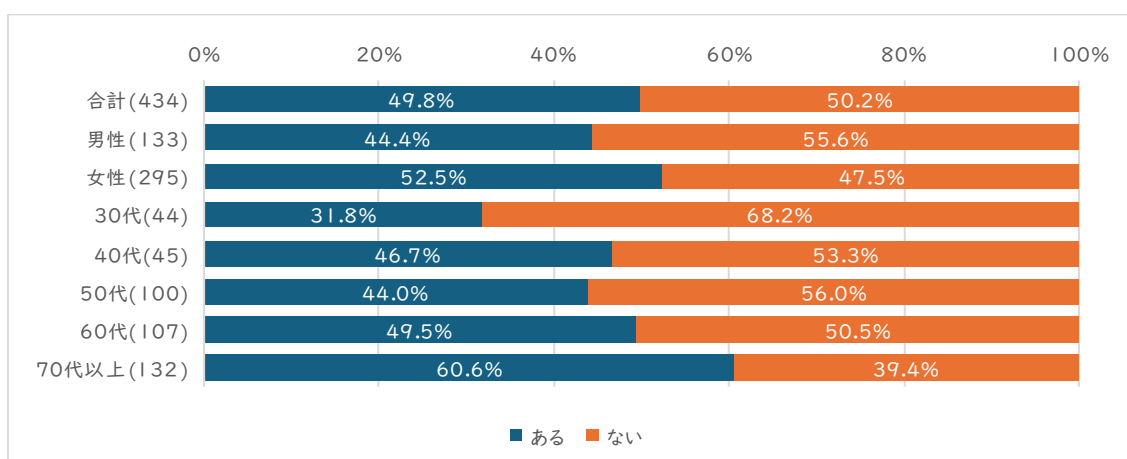


(Q12) エシカル消費に関するイベントや講習会に興味はありますか？

エシカル消費に関するイベントや講習会への興味については、「興味がある」と「興味がない」がおおむね拮抗しており、関心層と無関心層が分かれる結果となった。男女別では、女性の方が関心を示す割合が高く、男性では「ない」とする回答がやや多かった。年代別では、高年齢層ほど関心が高い傾向がみられ、特に70代以上で比較的高い値を示した。一方、30代では関心が低めであり、世代に応じた訴求方法の工夫が必要と考えられる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
ある	49.8	44.4	52.5	31.8	46.7	44.0	49.5	60.6
ない	50.2	55.6	47.5	68.2	53.3	56.0	50.5	39.4

(%)

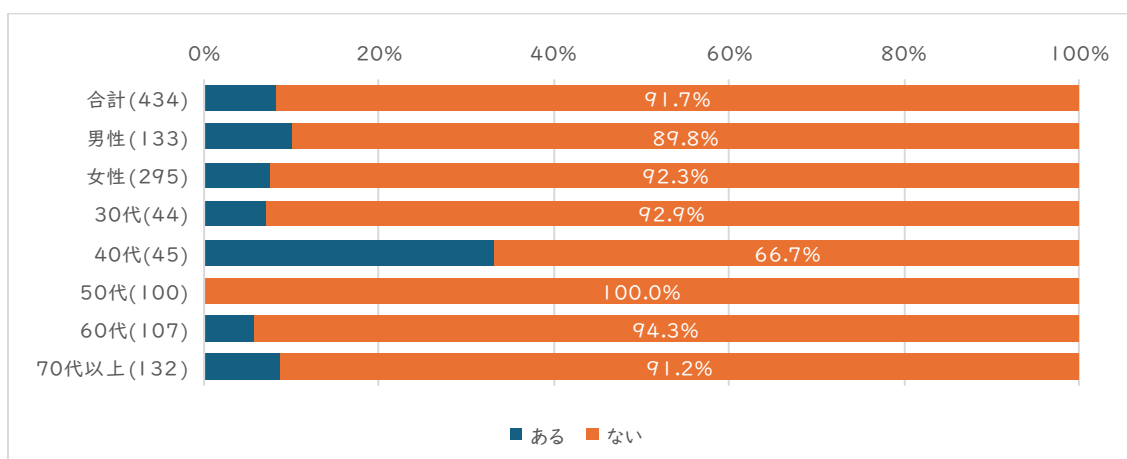


(Q13) 過去にエシカル消費に関する何らかのイベント・講習会に参加したことはありますか？

エシカル消費に関するイベントや講習会への参加経験については、「ある」と回答した人は限られており、関心の高さに比べて実際の参加には十分つながっていないことがうかがえる。Q12の結果と合わせてみると、興味はあるものの参加機会や参加のきっかけが不足している層が一定数存在すると思われる。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
ある	8.3	10.2	7.7	7.1	33.3	0.0	5.7	8.8
ない	91.7	89.8	92.3	92.9	66.7	100.0	94.3	91.2

(%)



※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q14) 参加したイベント・講習会の名称や内容を分かる範囲で教えてください。(例:〇〇市主催の講座、学校のSDGs授業、△△フェア、など)

自由記述では、市民団体や地域団体による講座、学校でのSDGs学習、環境フェス、生協の勉強会などが挙げられていた。回答数自体は多くないものの、行政だけでなく、学校、市民団体、民間団体など多様な主体によって学びの機会が提供されている実態がうかがえる。

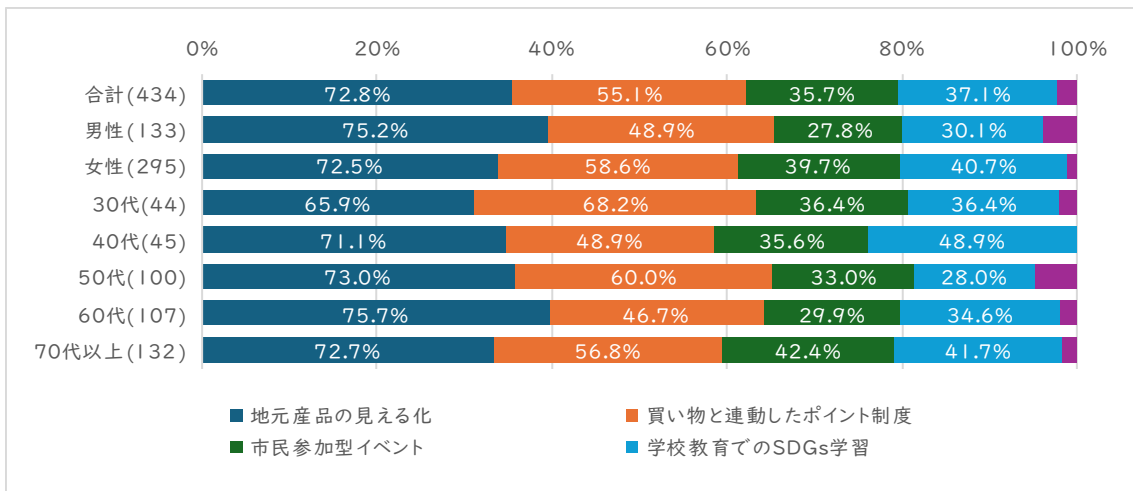
仲間と開催した講座で
無印良品でのアップサイクルのイベント
めぐみ白山で行われたイベント。
覚えていませんが白山市の隣のホールでの会など
JA 関連
ボランティア団体
エシカルに限らず環境フェス「ハチドリのしずく」を主催したり、谷口たかひさ氏を招いたお話を市民や市内の学校で開催している。3月も予定あり
美川コミュニティフェア
各女連主催の講座
のみ環境フェスタ
登壇者としての参加(各種女性連合会主催、エシカル消費「フェアトレードとは」)、主催者として「ハチドリのしずく」環境フェス(コンテンツ豊富な家族連れや若者を対象に、動員多数、金沢開催)
某団体の公開講座
会社のSDGs研修
生協の主催の勉強会

(Q15) 白山市に今後期待するエシカル消費の取り組みは何ですか?当てはまるものを全て選んでください。

今後期待する取り組みとしては、「地元産品の見える化」が最も多く、次いで「買い物と連動したポイント制度」が多かった。このことから、市民はまず商品や取り組みを分かりやすく示す情報提供を求めており、その上で行動を後押しする仕組みにも期待していると考えられる。男女別では、女性の方がポイント制度、学校教育、市民参加型イベントへの期待が高かった。年代別でも、全体として「見える化」の重要性が共通しており、特に30代ではポイント制度への期待が強く示された。

	合計 (n=)	男性 (133)	女性 (295)	30代 (44)	40代 (45)	50代 (100)	60代 (107)	70以上 (132)
地元産品の見える化	72.8	75.2	72.5	65.9	71.1	73.0	75.7	72.7
買い物と連動したポイント制度	55.1	48.9	58.6	68.2	48.9	60.0	46.7	56.8
市民参加型イベント	35.7	27.8	39.7	36.4	35.6	33.0	29.9	42.4
学校教育でのSDGs学習	37.1	30.1	40.7	36.4	48.9	28.0	34.6	41.7
特にな	4.8	7.5	2.7	4.5	0.0	10.0	3.7	3.8

(%)



※横棒グラフの数値ラベルは、視認性を考慮し、主要項目のみに表示している。省略した項目の数値は、表を参照されたい。

(Q18) エシカル消費に対するご意見・ご感想があれば教えてください。

- 個人個人が思い思いに行動しても理想のエシカル消費になるのかどうか抽象的に言っても察することができないと意味がないし、具体的に細かく示していった方がいいと思う
- エシカル消費という言葉は必要なのでしょうか。私は好きではありません。
- 小松市のように廃油の回収を希望します。また、量り売りや包装をなくした野菜の販売、プラスチック製品での包装を少なくしてほしいと思います。海外ではもっと環境への取組が多いのでぜひ海外を参考にしてください。日本国内だけでは視野が狭すぎます。
- エシカル消費が何か知らない人が多いと思うので、スーパーなどでポップで紹介してくれると購入者も増えると思います。
- 市民への周知にもう少し力を注ぐと良いと思う
- エシカル消費とは関係ないかもしれませんが、スーパーやコンビニなどで「手前どり」をすすめている所もありますが、パンなどは1日たっただけでもカスカスになってしまいます。21日が賞味期限のパンと19日が賞味期限のパンはしっとり感が全然違うのに同じ値段で並んでいるのがわかりません。カスカスでも少しでも安く食べたい人と、高くてもいいのでしっとりとしたパンを食べたい人がいると思います。賞味期限によって細かく値引きして、消費者が選べるようにしてほしいと常日頃から思っていました。当日が消費期限でも、その日に食べてしまうものなら安ければ買う人は多いはずです。
- 認知度を Up、告知等の強力
- 正直なところ、普段あまり意識することがないテーマだという印象です。市全体で推している活動なのでしょうか？
- 大切な取り組みだと思う
- SDGS のようにもっと解りやすく世に知らしめて欲しい
- エシカル馴染みなく初めて聞きました。わかりやすく広めるといいと思います
- 市民に浸透する勉強会があれば良いと思います。
- 気候変動が、私たちの消費生活に、様々な影響を及ぼし、不安です。子ども達の未来が健康で、安心して暮らせる社会になる様に、もっと意識して行きたいです。
- JA の他のスーパでももっと地元の商品を置いて欲しい
- 言葉は知っていましたが、内容まで知らなかったので今後は意識したいと思いました。
- 時代遅れのファッション的な昭和バブル的な無駄な消費行動である。
- 小さい頃から母にお醤油はココ、お酢はココ、やっぱり石川県産じゃないとダメなどと教えられて育ちました。なので、抵抗なく消費してます。そういう教育も必要かもと思います。
- これからはこれまで以上にエシカルに興味を持とうと思います
- 世代ごとのアプローチの方法を模索してほしい

- 何が何に繋がるか分かりにくい。そのためエシカル消費に協力的じゃない人が多いのでは。私の周りで意識している人が少ない気がします。
- エシカル消費とは何かをアンケートを答える上で明示してほしい
- エシカルという言葉の普及させる必要がある。
- 地元の食品を買いたい
- 街中に落ちている空き缶やペットボトルを無くしたい。喫煙者のポイ捨てを無くしたい。特に田んぼや川にゴミを捨てられているのを見ると情けなくなります。
- もっと生ゴミの活用を奨励した方が良いと思います😊。
- とても良い取組みなので、ぜひもっと多くの商品が身近で購入できたりや市民に取組みを広げて欲しい
- 包装の簡素化 ゴミも少なくなる様な
- エシカル消費で環境等に少しでも役に立てれば
- 道の駅めぐみ白山の建物の外装を含めての見直し(また来てみたい!と思える建物(外観→今は、何かの工場のように見える)店作りと商品の充実
- 物価高のなか理念は分かっているけど、なかなか取り組めない。
- 今まで特に気に掛けてはいなかったが地元産の物は大体決まった物のみ購入していた。
- 物流面でのメリットが価格として転嫁されるとエシカル消費は進むのではないかと思う
- 国産品・地元産品いつも意識していますが、経済的に諦める事も多いです。啓発活動も大事ですが、普通の人々が普通に働けば地元産品を(買いたい人は)買えるような経済状況になれる社会を作る事も必要に思います。
- 本当に効果があることを見えるようにしてほしい
- 他産地のものを排除するようであまり嬉しくない
- エシカル消費を意識して生活する事で温暖化を抑制に繋がると期待します
- 自宅で野菜果物を作っているのだから苗などは白山市の生産者様を購入して積極的に地元の物を使っています。鮮度重視ですね。
- まだまだじぶんの知らないことがあるのに気づきました、これからはもっと学ばなければと想いました。
- 白山市に住んで半年も経っていませんが、もっと意識したいと思います
- 資源に限りがあるので無駄をしないようにします。
- もっと細かく知りたいです
- “エシカル”という言葉が浸透していない現状でなので、イメージキャラクター等の柔らかいアピールもあっても良いかな
- 広報で、誰でも分かるように、これからこーなーを作って書いてほしいですね。

- 白山市内産品に限るなら横文字じゃない文言に改ためるべき
- 言葉は聞いた事ない、広報誌などに載せてますか？
- なぜカタカナ語を使うのですか？エシカルと言わずに、日本語ではダメなんですか？
- もっと知りたい
- 小中学生を巻き込んで欲しい 学校の先生は巻き込まないで 授業であっても先生が主ではない体制がいい 場所提供程度 または PTA 活動で取り入れてもらう とか
- エシカル消費という言葉と実践が自然と身につく世の中になればいいなあと思っています
- 子供は素直だから学校の授業でまず多く取り上げて貰い。大人達もまだまだ知らない人が多いと思うので、知って貰う為にも何かのイベントでエシカル消費のチラシを配ったりして発信して知って貰うしかないと思います。ゲームの中でエシカル消費を知って貰うなどかな？
- 日本語を使えばいいのと思う
- Q4 の価格と地産地消ですが、見た目も購買意欲に影響します。
- 県立ではありますが市内には翠星高校がありますし、高校で作られた農産物や食品は美味しくて新鮮なので
- エシカルという言葉がピンとこない
- 店頭でわかりやすく陳列してもらえれば買いたい
- 地味な取り組みなので、継続して欲しい。
- フリーマーケットが定期的にあると嬉しいです。
- 恥ずかしながら、エシカルという言葉をはほとんど聞いたことがないままアンケートに答えています。市の発信が見えないのですが、市全体で押している活動なのでしょうか。
- エシカル消費、初めてきました。大変良い活動だと思いますのでもっと周知いただけるようお願いします
- いくら環境に良くても消費者に金銭面でメリットが無いと利用したいと思えない
- エシカル消費という言葉も知らなかったなので、知るいいきっかけとなりました。
- エシカルと言う言葉を初めて知ってよくわからないし日本なんだから日本語で表記して欲しい。何でも英語表記にする事が嫌い。
- 地産地消と云うが、伴っていない店舗が多い
- ジビエ料理は大好きです
- エシカルという言葉に馴染みがない。購入基準の選択肢があったが、高くても美味しい、健康的なものであればエシカルかとは考えず、そちらを選ぶ。
- アンケートしてから、より一層自覚できました☆
- どのような消費活動がエシカルなのか見分けがつきにくい。例えば、エコバッグを購入して使用し続ける場合、何回使用し続ければ、使い捨て買い物袋よりも環境への負荷が低くなるの

か等、エシカル消費について具体的に知りたい。

- Q4 の回答補足:やはり安価のものを選ぶ傾向にあるが、能登地域等震災地域のものであれば、割高であっても積極的に買うようにしている
- 言葉だけが先行し内容までは理解不足なところもあると感じています。宣伝不足だと思います。買う側だけなく企業側の努力にも補助金等での支援が必要だと思います。選ぶ物がなければ購入できません。
- どんどん仕掛けていって下さい
- エシカル消費という言葉を全く知らなかったので、広報活動と啓発が必要ではないか。誰でもちよつとだけの無理のない行動ならできるのではないかな。
- 生産者の意識も必要である
- エシカル消費見える化に期待します
- 地元企業、JAにも参加して実効あるものにして欲しい。
- 今後気を付けて見て行こうと思います
- 地元の水で育った食料はとても美味しいと思う。生産者の方々の頑張りを応援しています
- なんと無く開いたアンケートで、「エシカル消費」を初めて知りました。勉強不足ですね。今後注意を払いたと思います。
- カタカナ言葉を乱用しない。こっこ付けはやめよ。
- 物価高、子育て中の状況下のためエシカル消費をしたくても、安いものを選んでしまう場面が多くあります。地元産のものや環境に配慮された商品が手頃に購入できると有難いと思います。
- 設問と違いますが、アンケートの回答で選択肢が少な過ぎるので、選択に困る。もう少し、市民目線に立って構成して欲しいと思いました。
- 地元の製品を買いたい
- もっと分かりやすく
- もっとPRできればいいと思う。
- エシカルという言葉を知りました。新聞、テレビでも見慣れないような気がします。何かの略称なのですか?このようなカタカナ文字を使わずに日本語を使って奨励してください ♀
- 石川県の発展に繋がります。
- 現代人はドライなのでエシカル?の対価を分かるよう説明、又還元出来るシステムを考えられると全ての人に取り組むと思います
- エシカル消費という言葉がどれほど浸透しているかわかりません。地産地消のような言葉もあったかと思いますが、エシカル消費という言葉を使う意味はあるのでしょうか。勿論既存の語

彙では一言で言い表せないということもあるかと思いますが。

- エシカルという言葉、もっと日本語でわかりやすくして、エシカルの下にでも小さく表示したほうが、年配の人にも分かりやすいと思います
- 今回始めてエシカルという言葉を知ったので、今回の様に、一般の人が分かる様に色々な行事をどんどんして下さい
- もっと分かり易く、積極的に広告してほしいと思います。
- 必要性がない
- エシカルの意味を考えると、白山市民としてのエートスとは何か？白山市民憲章と市の教育と個別具体的な消費行動の選択と白山市で実際に人としてまっとうな生活(ディーセントライフ)をすること、まっとうな労働(ディーセントワーク)ができることがうまく噛み合っているか？エシカル消費行動はエシカル生産行動と裏表で、白山市で暮らすことの自分にとっての意味や価値は何か？といったことを捉え直す機会になる。